

モノ作り事業の経営計画に欠かせない！ グローバルSCM時代の在庫理論！

日本生産性本部(日本IE協会)主催

Pull生産方式での在庫計画

会場参加2日
(オンライン可)

セミナー概要

在庫(製品在庫、部品在庫、仕掛在庫など)の削減(適正化)は製造企業にとって永遠の課題です。在庫の削減は社内からの資金調達に相当し、キャッシュフローを改善する経営効果があります。また、在庫を計画することは生産を計画することと同じ意義を持ちます。本セミナーでは、受注生産企業、見込生産企業を対象として、Pull生産方式と親和性が高い、在庫を適正化する実用的な在庫計画方式を学びます。

このセミナーの5つのポイント

- ポイント 1：キャッシュ創出の原理を理解
- ポイント 2：6種類の在庫を理論的に理解
- ポイント 3：発注方式と在庫の挙動を理解
- ポイント 4：Pull方式の在庫計画を理解
- ポイント 5：シミュレータの活用とデータを使って理解

講師



早稲田大学理工学術院創造理工学研究科
経営デザイン専攻 元特任教授

工学博士 光國 光七郎 氏

日立製作所で、プログラミング・システムエンジニアリング業務20年、事業構造改革及び業務改革コンサルティング業務22年経験。
1985年 創価大学卒、2000年 大阪大学大学院博士後期課程修了、工学博士
2010年 早稲田大学大学院教授就任(2020年3月退官)

研究対象は生産・流通プロセス改革とそのマネジメント方法。生産・流通プロセス改革は、事業構造モデリングに基づく組織とプロセスの改革技術を研究。また、マネジメント方法は、SCM(Supply Chain Management)を対象として、カップリングポイント在庫計画理論に基づく在庫適正化、キャッシュフロー改善に取り組む。電気学会、管理会計学会、経営工学会、経営情報学会、プロジェクトマネジメント学会などの会員。

参加者に進呈します！

講師の著書

在庫と事業経営

カップリングポイント在庫計画理論



開催日程とスケジュール

通い2日(オンライン受講可)

2025年10月7日(火)

|

2025年10月8日(金)

参加者の皆様へのお願い

演習で使用するシミュレータ(Excel※ & マクロ※)を事前に配布いたします。パソコンにダウンロードして受講して下さい。
会場で受講される場合は、ダウンロード済パソコンを持参してください。

第1日

10:00

10:00 開始

- 第1ステップ：在庫計画の役割と企業経営
- ・財務諸表(棚卸資産)の見方と演習
 - ・棚卸資産とリードタイム・サイクルの関係
- 第2ステップ：在庫理論の概要
- ・6種類の在庫と演習
 - ・必要在庫量の計算方法
 - ・在庫を計画することの意味
- 第3ステップ：発注方式の基礎
- ・ダブルビン方式と演習
 - ・定量発注方式と演習
 - ・定期発注方式と演習

17:00

17:00 終了

第2日

10:00 開始

- 第4ステップ：需給マネジメント
- ・3種類の需給調整方式と需給調整の成立要件
 - ・バックワード(需要予測)方式とPush生産方式
 - ・フォワード(需要実績)方式とPull生産方式
 - ・カップリングポイント在庫計画(補充)方式とPull生産方式
- 第5ステップ：カップリングポイント在庫計画
- ・カップリングポイント(適正在庫位置)の設定
 - ・カップリングポイント在庫計画(補充)方式の演習(シミュレーションによる需要予測方式との挙動比較)
- 第6ステップ：カップリングポイント在庫計画導入設計
- ・導入設計の考え方
 - ・改善活動の着眼点
 - ・現場の悩み
 - ・意見交換

17:00 終了

1名あたり参加費
(消費税10%込)

商工研会員

83,600円

一般(参考)

88,000円

テキスト代込み

講師：工学博士 光國 光七郎 氏

会場：千代田区平河町近隣 会議室

お問合せ先

申込手続全般／商工研：0120-221-450 セミナー内容／日本インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会(佐藤) 03-3511-4062